

## 大腸がんに関する早期診断のための研修会についての報告書

日時:平成21年12月3日(木)19:00~21:00

場所:沖縄県医師会館2階 会議室1

参加者:34名(アンケート回収19枚)

講演者:金城 福則(琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部長)

演題: 大腸がんの診断UpToDate

### Q1. あなたのご職業を教えてください。

医師	12
看護師	2
薬剤師	3
相談員	0
その他医療関係者	2

### Q2. 本日の研修会は参考になりましたか。

大変参考になった	11
参考になった	6
普通	1
参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0

### Q3. 講演時間はいかがでしたか。

(開始時間について)	
早い	2
ちょうどいい	16
遅い	0
(講演について)	
長い	0
ちょうどいい	18
短い	0

### Q4. 今回の研修会は何でお知りになりましたか。

チラシ	16
協議会ホームページ	1
紹介	2
その他	0

### Q5. 今回の研修会を受講しようと思った動機を教えてください。(複数選択可)

がん拠点病院で勤務しているか	9
本日のプログラム(講師)にひか	12
早期診断に興味・関心があるか	9
参加するよう誘い・指示があった	1
その他	

### Q6. 今後研修会でやって欲しいテーマがあれば教えてください。

- ・早期胃がん
- ・大腸がんの集学的治療
- ・各種の癌を順次行ってほしい
- ・禁煙について
- ・胃がんの内視鏡診断、大腸がんの内視鏡診断
- ・SMT診断

- ・NBI、拡大内視鏡
- ・他のがん種も行ってほしい
- ・治療に関すること(化学療法・緩和療法など)

Q7. 特に他の悪性腫瘍の画像診断の研修会でやってほしいテーマがあれば教えてください。

- ・粒子線治療を含めた放射線治療の進歩
- ・各種の癌を順次行ってほしい
- ・子宮がん
- ・大腸がんの拡大内視鏡、NBI診断
- ・膵臓がん、IPMN/MCN など
- ・NBI、超音波内視鏡

Q8. 本日の研修会に関するご意見ご感想をお聞かせ下さい。

- ・県内死亡原因としてのがん腫を教えてください、良かったです。
- ・大腸がんへの対処(特に診断)の重要性が認識できました。
- ・勉強になりました。
- ・大腸がんの診断や検診の割合など良く理解できました。
- ・研修会案内(チラシ・ポスター・県医師会会報)が少ない印象を受けた。開業、勤務医各位に配布していただきたい。
- ・大変わかりやすく印象的な講義でした。
- ・広範な宣伝を行って、多くの参加を呼びかける方策を。

- 質問1 便潜血について、毎年受ければ割と早いうちに見つかるという話ですが、どれぐらいの割合ですか？
- 質問2 若い女性(30代)で胃がん・大腸がんが見つかるのかなり高い割合で末期という人が見受けられたが、40代からではなくて30代からを検診対象にした方がいいのでは？
- 質問3 場所によって難しい所があると思いますが、切除を断念したケースとかありますか？
- 質問4 大腸のポリープがある患者さんの話なんですけど、ポリープができやすい人に関して、メンセンケツを行わずに、2年～4年おきに内視鏡検査をした方がいい？
- 質問5 便潜血において、科学的方法と免疫的方法によって取り入れていゆ方法が違うが、どちらが優秀というのは調べられているのでしょうか？
- 回答1 そんなに多くはない。多く見積もっても15%以下
- 回答2 予防の検診にお金を出さない国だから、効率と比率の問題になってくるので、難しい
- 回答3 カンワンキョク部分？ そんなに多くはない
- 回答4 4～5年間はまず大丈夫であろうとはいえませんが、約3%ぐらいはまた発生するという可能性がある。また、ポリープができやすい人であるならば、毎年予防的検診という形で、便潜血をやってもいいと思う。
- 回答5 もちろん調べられている